

令和8年度 一般選抜（前期日程） 英語

出題意図について

全体を通じての出題意図は以下のとおり。

- ・多種多様なテキストを的確に読み取り，理解する能力を評価する。
- ・そのテキストが表現媒体として，あるいはコミュニケーション媒体として旨とするところを，テキスト理解にもとづいて把握する能力を評価する。
- ・英語ならびに日本語の語彙を理解し，運用する能力を評価する。
- ・学んだ知識と身につけた技能を応用し，英語ならびに日本語で他者に伝えるべく表現する能力を評価する。

各問について

I

私たちは「事実」と呼ばれるものを，さらには「実験的事実」と呼ばれるものを，知識や認識的主張の揺るがぬ拠り所とし，高く評価するのが常であるようだ。なぜ私たちはそうするのだろうか。たとえば後者は，人為的構成によって生じる事態と考えるのではないか。

問題文は，このような問いに取り組んだ科学史研究の一大里程標として衆目の一致するところたる，現代の古典である。大学以降の高等教育が本来的な目標とすることの一つは知の生産や開拓的再編であって，単純な受動的蓄積ではない。このテキストはそれゆえに選択された。

問1，2，3

論述の展開を理解したうえで，語彙や構文を，さらには文章としての論理構造を，的確に読み取り適切な日本語で表現できるかどうかを評価する。どの問題も，英文の構造を判別して読解する能力を，また，文脈を踏まえて語彙や語句を適切に読解し表現する能力を評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- ・関係代名詞を用いた構文の理解
- ・不定詞を用いた構文の理解
- ・動名詞表現の理解

・指示代名詞の的確な理解

問 4

テキストにおいて際立った役割を果たしているが、むしろ目にすることしばしばである概念を、テキストの論述にもとづきつつ単に辞書項目的な意味を超えて読解できるかどうかを評価する。

Ⅱ

出典は、アマゾンの奥地に暮らす少数民族ピダハンのユニークな認知世界を描き出す科学ノンフィクションである。引用されたテキストでは、自然な生物的本能による「当たり前」のものだと感じている価値観が、実はある文化や社会に生まれたことによって偶然身についたものであることが示唆される。私たちに少なからず巣食う西洋的な普遍幻想を、ときには根底から疑うことができる視野を持ってみてほしい。

問 1

省略された文の主旨を理解できるかどうか、また、その内容を適切な日本語で表現できるかどうかを評価する。

問 2

文脈を理解したうえで正しく語句の意味を読み取れるかどうか、また、英文の構造を理解し、それを適切な日本語で表現できるかどうかを評価する。

問 3

文脈を理解したうえで語句が指す内容を把握し、それを適切な日本語で表現できるかどうかを評価する。

問 4

文章の主旨を読み取れているかどうか、また、前後の文脈の論理構造に対する理解が十分であるかどうかを評価する。

(B)

問 5

確実な語彙力をもっているかどうか、また、前後の部分から内容に対する理解ができるかどうかを評価する。

(ア) : (C) (イ) : (D) (ウ) : (C)

III

出典は、近代外科学の革新者とされるフランス人アンブロワーズ・パレの生涯と業績を論じた研究書である。パレは華岡青洲にも大きな影響を与えている。テキストは、「床屋外科医」であったパレが如何に治療と研究に従事し、それを三巻におよぶ大部な書物に著したかを説いている。パレの著作に関しては 剽窃ということが問題になるが、著者はこの点を重視していない。剽窃問題は、とりわけ現代の科学研究においては、常に意識されるべき事柄であろう。

設問は標準的な形式である。テキストの論旨および議論の流れをしっかりと追えれば対応できるだろう。

問 1, 2, 3, 4

基本的な語彙力は不可欠である。一つの単語を読み間違えるだけで、全体を誤読する可能性がある。語彙や構文を、さらに論理構造を理解したうえで、論述の展開を的確に読み取り適切な日本語で表現できるかどうかを評価する。どの問題においても、文法構造を判別して読解する能力を、また、文脈を踏まえて語彙や語句を適切に読解し表現する能力を評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- ・ 基本的な語彙の理解、とりわけ、一見簡単そうに思える単語の正確な理解
- ・ イディオム表現の理解
- ・ 主節、従属節の理解
- ・ 副詞の正確な理解
- ・ 同格表現の理解
- ・ 文脈に沿った英文の理解

問 5

定型的な表現で用いられる語彙について、確実な理解力を持っているかを評価する。

[ア] (A)

[イ] (A)

IV

出典は、フィールズ賞を日本人として初めて受賞した高名な数学者のエッセイである。日本語特有の表現を柔軟に解釈し、基礎的な英語の知識と論理的思考力を駆使して、英語で表現することができるかどうかを評価する。

今回の問題で評価基準とされた事柄をいくつか下に列挙する。

- ・ 基本的な語彙を用いた表現
- ・ 基本的な熟語を用いた表現
- ・ 主節，従属節を使い分けた表現
- ・ 対比をあらわす表現
- ・ 分詞を用いた表現
- ・ 能動態，受動態を使い分けた表現
- ・ 不定詞を用いた表現